



**1 峰 竜太**  
4320 佐賀 A1  
当地は09年九州地区選でG1初優出初Vを飾った聖地。過去出場した4度の当地周年は全てVと相性は抜群だ。

**2 松井 繁**  
3415 大阪 A1  
G12優出に留まった昨年だが一般戦5Vと随所で存在感を示した。当地は55周年を含めて5Vの実績がある。

**3 菊地 孝平**  
3960 静岡 A1  
56周年の覇者は昨年もG16優出1V、SG2優出と高い攻撃力を披露。7年連続グランプリ出場を果たした。



**4 篠崎 仁志**  
4477 福岡 A1  
16年GIIMB大賞を含め当地は7V。G1Vはないが周年は3優出。愛すべき地元水面の一つでVが欲しい。

**5 磯部 誠**  
4586 愛知 A1  
昨年はG1V2、SG皆勤で4度の予選突破を果たし初のグランプリ出場。グランプリ優出3着は一流の証。

**6 西山 貴浩**  
4371 福岡 A1  
丘の上のエンターテイナーは水面でもG12V、SG4優出の実績がある実力者。地元周年Vへ闘志を燃やす。

# 1日目12R 全日本王座ドリーム

G1戦線に帰ってきた峰竜太がインをガッチリと固める。SG復帰は最短で10月蒲郡ダービー。暮れのグランプリ出場を考えるとG1での一戦一戦がより重要になってくる。当地周年はポート史上3人目となる同一周年3連覇(64~66周年)を達成し、67、69周年は幹せんが入らなかったが68周年も制したゲンのいい大会。5度目のVへ波に乗るべく早逃げを敢行する。百戦錬磨の松井繁が2コースから1番に差して峰を追走する形が有力とみるが、センターから鋭いスタートで仕掛ける菊地孝平も決め手は申し分ない。篠崎仁志は冷静に切り込んで好位浮上を狙う。磯部誠も割り差しの精度は高い。西山貴浩はビット離れ次第で積極的にコース動く場面もあり得る。

# 2日目12R アシ夢ドリーム

地元総大将である瓜生正義が2日目ドリーム白いカボックで主演の座を務める。昨年は優勝なしながら11月までG13優出にチャレンジカップまで全てのSGで準優進出。グランプリは1stステージで敗退もシリーズ回りで優出。常に一走入魂の構えは崩さず、初日に調整をつかんで逃げ込むとみた。馬場貴也が瓜生に肉薄する。狙うは昨年69周年1号艇で優出大敗のリベンジ。ここは10月常滑ダービー優勝戦で魅せた2コースからの鬼差しが頭をよぎる。昨年グランプリ優出の原田幸哉にも5月宮島オールスター優勝戦でも閃光が走った切れる捲り差しがある。石野貴之はカドで自在に構える形か。平本真之、羽野直也も展開1つで抜け出せる突破力を兼備している。



**1 瓜生 正義**  
3783 福岡 A1  
選手会長は昨年優勝なしながら意地のグランプリ出場。レースへの情熱は冷めることなく当地G13Vを狙う。

**2 馬場 貴也**  
4262 滋賀 A1  
G110優出2V、SGはダービー制覇にグランプリ準優勝で22年MVPに輝いた。超速さばきが唸りを上げる。

**3 原田 幸哉**  
3779 長崎 A1  
21年メモリアル、22年オールスターと2年連続SGV。ロスジェネの星はここへきて勝負強さが増すばかりだ。

**4 石野 貴之**  
4168 大阪 A1  
令和最初のグランプリ王は昨年G14優出1V、SG3優出と高値安定。62周年以来2度目の周年V目指す。

**5 平本 真之**  
4337 愛知 A1  
グランプリ出場には届かなかったものの昨年SG5度の予選突破から2優出。当地は59周年差してG1初V。

**6 羽野 直也**  
4831 福岡 A1  
22年はG12Vからグランプリ初出場。優出まで後一步の所まで迫った。強豪福岡支部勢の中で最も輝いた。

# 王爆誕!!